

大腸癌研究会プロジェクト研究

『直腸癌における肛門側切離端までの距離と

外科剥離面までの距離に関する多施設前向き観察研究』

第8回委員会 議事録

研究代表者：伊藤雅昭

期日：2022年7月7日（木）12:15～12:45

場所：場所 浜松町コンベンションホール 5F 大ホール A ※ハイブリッド方式

出席者：濱田円、塩見明生、上田和毅、小松更一、高見澤康之、松田健司、岩本博光、安達智洋、矢野琢也、伊藤一郎、岡本耕一、杉下博基、田中慶太郎、外岡亨、足立利幸、中島紘太、有田智洋、鈴木伸明、島田能史、須藤剛、堀越琢郎、小杉千弘、吉満政義、松田武、大田英揮、影山咲子、三浦卓也、吉満政義、高雄美里、那須克宏、黒木嘉典、市川伸樹、白石卓也、澤田紘幸、市川伸樹、澤田紘幸、大平学、大平学、落合亮二、幸田圭史、落合亮二、伊藤信一郎、高橋孝夫、河合雅也、木村慶、高田章代、小嶋誉也、山本大輔、日下部将史、大熊誠尚、徳永卓哉、盛真一郎、黒川弘晶、大沼忍、小嶋基寛、伊藤雅昭、池田公治

【順不同】 【敬称略】

議題 1. 前回からの進捗状況報告（国立がん研究センター東病院 池田公治）

本研究の症例登録の2年間の延長について前回の委員会で承認を頂いた。その後、プロトコルを改訂、2022年4月に国立がん研究センター東病院 IRB 延長申請が承認され、2022年5月に大腸癌研究会 IRB 延長申請が承認。5月末から研究登録を再開し、現在のところ順位各施設の IRB に変更申請を提出いただいている現状を報告した。

議題 2. 参加施設及び登録症例数の推移（国立がん研究センター東病院 池田公治）

2022年6月30日時点で IRB 通過施設が41施設(前回から+3施設)、症例登録数が431症例(前回から+82症例)である。延長申請の手続きにより症例登録数が前回の6か月と比較して減少したことを報告した。症例登録期間は残り18か月であり、月に32例の登録が維持できれば2024年3月までに1000例に到達できる見込みであることから、各施設において1～2例/月の登録をお願いした。

議題 3. MRI 中央判定会議の内容（国立がん研究センター東病院 池田公治）

第 4 回・第 5 回の MRI 画像診断中央判定会議で議論した内容を報告した。本研究の中央判定会議で用いる放射線レポートの内容が決まったことからその内容について説明するとともに、MRI の画像診断（CRM、DME、EMVI）測定方法について実際の症例で解説を行った。

【質疑応答・意見】

・和歌山県立医科大学の岩本先生より、直腸癌の MRI 画像診断の詳細が本邦では定まっていないことから、画像診断の仕方について本などを作成してはどうかというご意見を頂いた。事務局からはまずは本研究に参加して頂いてる先生方に MRI 中央判定会議で MRI 画像診断の実際について実際の登録いただいた症例で解説し、放射線診断医や外科医の診断能力を引き上げていきたいことを説明した。

文責：池田公治